



循環器内科

大牟田・有明地区

初

ロータブレーター 開始される



この度、当院におきまして、ロータブレーターを開始しました。

ロータブレーターはカテーテル先端にダイヤモンドがコーティングされたドリルを回転させて、血管内の石灰化病変を削り取るカテーテル治療です。バルーン（風船）やステントでは対応できなかった石灰化のある血管病変に威力を発揮します。

これまでは久留米市や熊本市まで行かなければできなかった治療を当院で施設基準を取得し、令和7年7月15日に最初の症例を行いました。

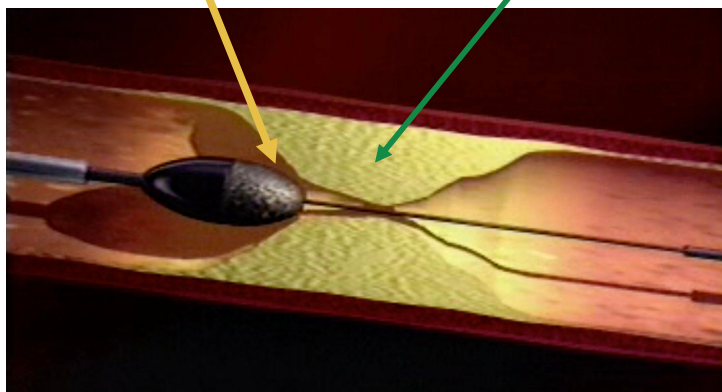
当日は、熊本赤十字病院 心血管カテーテル治療科部長 池本智一先生をお迎えし、2症例を行い問題なく終了しました。

ロータブレーターは虚血性心疾患のなかの冠動脈石灰化病変に対するカテーテル手術ですが高度の技術を要します。熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学 辻田賢一教授、同心臓血管外科学 福井寿啓教授のご支援により、大牟田・有明地区では初めての施行となりました。ご不明な点は、大牟田天領病院にお問い合わせ下さい。

ロータブレーター

ダイヤモンドコーティング
の楕円形のバー

石灰化病変



ラグビーボールのような楕円状のバーが
1分間に18万回転します

シャフトの先端にダイヤモンド
コートされた楕円形のバー

1.25mmから2.25mm
のサイズがあります

